



北海道

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

資料 1

令和 5 年度（2023 年度）
北海道原子力防災訓練
実施結果報告書

令和 6 年（2024 年）3 月

北海道・泊村・共和町・岩内町・神恵内村・
寿都町・蘭越町・二セコ町・倶知安町・
積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村

はじめに

北海道原子力防災訓練は、北海道防災会議が策定した「北海道地域防災計画（原子力防災計画編）」、泊村、共和町、岩内町、神恵内村で組織する泊発電所原子力防災会議協議会が策定した「泊発電所周辺地域原子力防災計画」及び寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村が策定した「地域防災計画（原子力防災計画編）」、「泊地域の緊急時対応（国、道及び関係町村の原子力災害対策を一体的に取りまとめたもの）」に基づき、住民避難訓練や災害対策本部の設置運営訓練などを組み合わせて総合的に実施する訓練（以下、「総合訓練」という。）や、要素ごとに実施する訓練（以下、「要素訓練」という。）により構成され、昭和63年度以降、毎年度実施している。

今年度の総合訓練は、令和5年（2023年）10月に、台風による暴風雨との複合災害を想定し、意思決定訓練と実動訓練を連動させて1日間の日程で実施した。意思決定訓練では、北海道原子力防災センター（オフサイトセンター）に国や道などの防災関係機関の要員が参集し、台風との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。実動訓練では、事態の推移に応じて、PAZとUPZの区分ごとの段階的な住民避難に加え、台風被害に伴い開設した避難所での屋内退避、孤立地域を想定したヘリコプター・装甲車による救出救助を実施したほか、避難バス運転手の安全確保のための情報伝達、さらには避難圏域時検査などの原子力災害医療活動に取り組んだ。

また、要素訓練では、外国人観光客等の避難が円滑に行われることを目的として、令和6年（2024年）2月に外国人観光客等避難誘導訓練を実施した。この他、毎月1回を基本に関係町村・関係機関に設置している「原子力防災ネットワーク専用回線」を使用した通信連絡訓練、緊急時環境放射線モニタリング訓練などを通じて防災業務関係者の技術向上に取り組んだ。

本報告書は、訓練の記録として取りまとめたほか、訓練終了後に関係機関等に行った事後調査等を基に得られた課題等を整理し、今後の訓練や防災対策に資するものである。



目 次

第1 総合訓練

1	目 的	1
2	実施日時	1
3	主 催	1
4	場 所	1
5	対象施設	1
6	参加・協力機関	1
7	訓練想定	5
8	訓練内容	7
9	訓練イベント時刻	16
10	住民避難訓練整理表	18
11	訓練実施場所図	19
12	事前準備・結果報告等	20

第2 外国人観光客等避難誘導訓練（要素訓練）

1	目 的	21
2	実施日時	21
3	主 催	21
4	場 所	21
5	対象施設	21
6	参加・協力機関	21
7	訓練想定	21
8	訓練内容	21
9	事前準備・結果報告等	22

第3 課題等整理表

1	総合訓練	23
2	外国人観光客等避難誘導訓練（要素訓練）	31

第4 その他（要素訓練等）

1	通信連絡訓練	33
2	原子力災害対策本部及びオフサイトセンター訓練（図上演習）	33
3	緊急時環境放射線モニタリング訓練	34
4	原子力災害医療研修会	34
5	その他研修	35
6	地域学習会	35

<参 考>

■	北海道原子力防災訓練の実施状況（平成24年度～令和5年度）	36
■	訓練参加住民アンケート調査結果（総合訓練）	44
■	令和5年度北海道原子力防災総合訓練リーフレット	48
■	原子力災害に備えた屋内退避マニュアル	50
■	緊急時における防護措置の概要	58

第1 総合訓練

1 目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 実施日時

令和5年(2023年)10月25日(水) 8:30 ~ 15:30

3 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

4 場所 [実動訓練場所]

泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、留寿都村、札幌市

5 対象施設

北海道電力(株) 泊発電所(3号機)

6 参加・協力機関

防災関係機関等 360機関(防災業務関係者 1,724人)

(1) 北海道警察 … <1>

(警察本部、札幌方面南警察署、札幌方面豊平警察署、札幌方面余市警察署、札幌方面倶知安警察署、札幌方面岩内警察署、札幌方面室蘭警察署、函館方面寿都警察署)

(2) 北海道教育委員会 … <1>

(北海道教育庁、後志教育局)

(3) 市町村 … <23>

札幌市、小樽市、島牧村、黒松内町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、千歳市、北広島市、江別市、洞爺湖町、豊浦町、伊達市、室蘭市、苫小牧市、登別市、壮瞥町、白老町、むかわ町、安平町、厚真町、長万部町

(4) 消防機関 … <4>

岩内・寿都地方消防組合(消防本部、岩内消防署、泊支署、共和支署、神恵内支署、寿都支署)、北後志消防組合(消防本部、余市消防署、古平支署、積丹支署、仁木支署、赤井川支署)、羊蹄山ろく消防組合(消防本部、倶知安消防署、蘭越支署、二セコ支署)、札幌市消防局(警防部)

(5) 関係省庁 … <3>

原子力規制委員会原子力規制庁、泊原子力規制事務所、内閣府

(6) 指定地方行政機関 … <7>

総務省北海道総合通信局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、気象庁札幌管区気象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、環境省北海道地方環境事務所

(7) 自衛隊 … <3>

陸上自衛隊北部方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊

(8) 指定公共機関 … <5>

(国研)日本原子力研究開発機構、東日本高速道路(株)北海道支社、(株)NTTドコモ北海道支社、KDDI(株)北海道総支社、ソフトバンク(株)

(9) 指定地方公共機関 … <3>

(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会

(10) 公共的団体等 … <8>

古宇郡漁業協同組合、岩内郡漁業協同組合、寿都町漁業協同組合、東しゃこたん漁業協同組合、余市郡漁業協同組合、きょうわ農業協同組合、余市町農業協同組合、新おたる農業協同組合、余市水産加工業協同組合

(11) 協力企業等 … <16>

国際観光バス(株)、はまなす観光バス(株)、時計台バス(株)、(株)北観光、北日本トランスポート(株)、(株)AIR、エール観光(株)、はな交通(株)、H.CS観光(株)、東芝ITサービス(株)、日本レイテック(株)札幌営業所、(株)サイエンスアーツ、日本通運(株)、北海道エネルギー(株)、三陽建設工業(株)、茅沼建設工業(株)

(12) 原子力事業者 … <1>

北海道電力(株)(本店、泊発電所)

(13) 医療機関 … <9>

北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、伊達赤十字病院、北海道社会事業協会岩内病院、北海道社会事業協会余市病院、北海道厚生連俱知安厚生病院、日本赤十字社北海道支部、(一社)北海道放射線技師会

(14) 学校・幼稚園・児童福祉施設 … <110>

【泊村】泊村立泊小学校、泊村立泊中学校、とまり保育所

【共和町】共和町立南幼稚園、共和町立中央保育所、共和町立北幼稚園、共和町立へき地保育所、共和町立東陽小学校、共和町立北辰小学校、共和町立西陵小学校、共和町立共和中学校

【岩内町】高田幼稚園、岩内幼稚園、岩内町立岩内東小学校、岩内町立岩内西小学校、岩内町立岩内第一中学校、岩内町立岩内第二中学校、北海道岩内高等学校、いわない東保育所、いわない西保育所、岩内厚生園、児童デイサービスチャレンジキッズどんぐり、ファミリーホームろっく、(特非)法人はなうた・はみんぐfunいわない

【神恵内村】神恵内保育所等複合施設、神恵内村立神恵内小学校、神恵内村立神恵内中学校

【寿都町】寿都町立寿都小学校、寿都町立潮路小学校、寿都町立寿都中学校、北海道寿都高等学校、寿都保育園、歌楽洗心学園

【蘭越町】蘭越ひばり幼稚園、蘭越町立蘭越小学校、蘭越町立昆布小学校、蘭越町立蘭越中学校、北海道

蘭越高等学校、蘭越保育所、北海愛星学園、昆布保育所

- 【ニセコ町】ニセコ町幼児センター、ニセコ町立ニセコ小学校、ニセコ町立近藤小学校、ニセコ町立ニセコ中学校、ニセコ町立北海道ニセコ高等学校、北海道インターナショナルスクールニセコ校
- 【倶知安町】倶知安幼稚園、倶知安藤幼稚園、倶知安めぐみ幼稚園、倶知安町立倶知安小学校、倶知安町立西小学校、倶知安町立西小学校樺山分校、倶知安町立北陽小学校、倶知安町立東小学校、倶知安町立倶知安中学校、北海道倶知安高等学校、北海道倶知安農業高校、くっちゃん保育所ぬくぬく、子育て支援センター、なかよし子供館、児童チャレンジサポートさやえんどう、羊蹄山ろく発達支援センター、倶知安町立北児童館、倶知安町立南児童館
- 【積丹町】積丹町立美国小学校、積丹町立日司小学校、積丹町立野塚小学校、積丹町立余別小学校、積丹町立美国中学校、積丹町立びくに保育所、みなと保育所
- 【古平町】古平町立古平小学校、古平町立古平中学校、認定こども園ふるびら幼児センターみらい、児童デイ多機能型事業所ひまわりくらぶ
- 【仁木町】仁木町立銀山小学校、仁木町立仁木小学校、仁木町立銀山中学校、仁木町立仁木中学校、北海道芸術高等学校仁木本校、にき保育園、櫻ヶ丘学園、大江へき地保育所、銀山へき地保育所
- 【余市町】余市町立黒川小学校余市町立大川小学校、余市町立沢町小学校、余市町立登小学校、余市町立旭中学校、余市町立東中学校、余市町立西中学校、北海道余市紅志高等学校、北海道余市養護学校、(福)徳風会ほうりゅうじ保育園、北後志母子通園センター、余市町立中央保育所、余市町立大川保育所、サポートセンターたね、北星学園余市高等学校、(学)北海道キリスト教学園リタ幼稚園、(学)夢の森学園 夢の森幼稚園、沢町児童館、黒川児童館、地域小規模児童養護施設 さくら、(特非)どんぐり
- 【赤井川村】赤井川小学校、都小学校、赤井川中学校、赤井川村へき地保育所

(15) 病院・社会福祉施設 … <125>

- 【泊村】泊村養護老人ホームむつみ荘、泊村特別養護老人ホームむつみ荘
- 【共和町】地域活動支援センター前田の家、共和町いきいきセンター、共和町特別養護老人ホームみのりの里共和
- 【岩内町】医療法人岩内大浜医院、岩内あけぼの学園、ベーカリーサンライズ、介護老人福祉施設岩内ふれ愛の郷、介護老人保健施設コミュニティホーム岩内、岩内町デイサービスセンター、グループホーム「そよかぜ」岩内、介護付有料老人ホーム七福神恵比寿館
- 【神恵内村】介護老人保健施設神恵内ハイツ998
- 【寿都町】寿都町立寿都診療所、歌棄慈光園、ワークランド歌棄、はまなす寮、寿都しおさい学園、寿都浄恩学園、寿都寿海荘、寿都デイサービスセンター、
- 【蘭越町】(医)静和会昆布温泉病院、蘭越診療所、特別養護老人ホーム一灯園、高齢者グループホームらんこし、蘭越町通所介護事業所こんぶ、高齢者生活福祉センターこんぶ、高齢者生活福祉センターめな
- 【ニセコ町】医療法人ニセコ医院、(特非)ニセコ生活の家、特別養護老人ホームニセコハイツ、(福)ニセコ福祉会ニセコ町デイサービスセンター、(福)ニセコ福祉会ニセコ町グループホームきら里
- 【倶知安町】倶知安厚生病院、障がい者就労支援施設羊蹄セルブ、人と人をつなぐ陽だまり、グループホームそら、グループホームかぜ、グループホームゆめ、福祉ホーム羊蹄、共同生活援助事業あゆむ、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい、グループホームよろこび(グループホームよろこび、グループホームまどか、グループホームえがお、グループホームここに、グループホームしずく)、ワークステーション輝、夢のたくみ、羊蹄ハイツ、デイサービスセンター羊蹄ハイツ、介護老人保健施設麓華苑、グループホーム羊蹄、認知症対応型共同生活介護縁、認知症対応型共同生活介護絆、デイサービスろっかえん、倶知安町老人デイサービスセンター、リハビリ特化型サービスカラダラボ
- 【積丹町】積丹町立国民健康保険診療所、エイジングステーションやすらぎ、地域密着型特別養護老人ホー

ムゆうるり

- 【古平町】 共働の家、みっくすベジタ、きょうどう、地域生活総合支援センターいこいの家、若者宿、つどい、古平町高齢者生活支援センター元気プラザ、夕凧、朝凧、デイサービスセンターのどか、グットケア、ほほえみくらす、古平デイサービスセンター、古平町立診療所海のまちクリニック、(福)古平町社会福祉協議会、(福)古平福祉会、
- 【仁木町】 (医)森内科胃腸科医院、(福)後志報恩会銀山学園、(福)後志報恩会大江学園、(福)後志報恩会えんれいそう、(福)後志報恩会陽だまり、(福)後志報恩会ふきのとう、あんごの森「銀山」、回復の森「銀山」、(福)仁木福祉会グループホーム仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会デイサービス仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会仁木長寿園
- 【余市町】 余市幸住学園、余市豊浜学園、どりーむ・わーくす、あおぞら、フルーツ・シャトーよいち、(福)徳風会(養護老人ホームかるな和順、デイサービスセンターかるな、ショートステイ和順、在宅介護支援センターかるな、居宅介護支援事業所かるな)、(特非)ロータス会(グループホーム延寿園、デイサービス華、ヘルパーステーション華、高齢者マンション華)、グループホーム夢、デイサービスひかり、デイサービス笑、小規模多機能型居宅介護事業所ほとハウスよいち、サービス付高齢者住宅ふる一つの郷、サービス付高齢者住宅ぬくもりの郷、介護医療院なかじま、中島内科、デイサービスセンターかがやき、有料老人ホームみどり、恵泉虹乃家、ハッピーサポート花ごころ、(特非)樹の杜、(福)恵盛会希望の家 余市作業所、サポートセンターたね まーぶる、NPO法人 余市はまなす、生活介護事業所 こうずみ、生活介護事業所 こうずみ ひのき、グループホーム こうずみ ポプラ、グループホーム こうずみ けやき、グループホーム こうずみ メープル、グループホーム こうずみ オリーブ、グループホーム こうずみ さくら、介護老人保健施設 よいち、グループホーム こもれび、グループホーム ポランの家、デイサービス 花ごころ、リハビリ特化型デイサービス カラダラボ余市、住宅型有料老人ホーム GRACE310モイレ、住宅型有料老人ホーム GRACEガーデンモイレ、社会福祉法人 北海道社会事業協会余市病院
- 【赤井川村】 グループホームあまらんす、グループホームあまらんす2号館

(16) その他 … <41>

- 【泊村】 泊村社会福祉協議会、泊村商工会
- 【共和町】 共和町農業開発センター、共和町学校給食センター、西村計雄記念美術館、共和町かかし古里館、共和町社会福祉協議会、共和町商工会、ワイス温泉
- 【岩内町】 岩内地域人材開発センター、(株)いわない高原ホテル、いわない温泉高島旅館、いわない温泉おかえりなさい、ホテルいのう、岩内マリンホテル、ホテルENVY、ホテルENVY(新館)、ベイホテルいわない、岩内町老人福祉センター、働く婦人の家、岩内商工会議所
- 【神恵内村】 民宿きのえ荘、旅館恵比須屋
- 【古平町】 古平町商工会、日本海ふるびら温泉しおかぜ
- 【仁木町】 (福)仁木町社会福祉協議会、仁木町商工会、イナホ観光(株)、(有)五共ハイヤー、(特非)銀山さわやか福祉NPO、仁木町観光協会
- 【余市町】 余市商工会議所、日本郵便(株)余市郵便局、(一財)余市医師会、余市カントリー(株)(エーヴランドホテル&ゴルフクラブ)、ニッカウモスキー(株)北海道工場
- 【札幌市】 アパホテル&リゾート〈札幌〉、(公社)北海道国際交流・協力総合センター
- 【黒松内町】 社会福祉法人黒松内つくし園本部、湯の里・黒松内
- 【留寿都村】 ルスツリゾート

7 訓練想定

- ・北海道電力(株)泊発電所3号機において、設備故障により、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉を停止。設備の故障が重なり、原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。
- ・後志地方で台風による暴風雨が発生している状況下において応急対策活動を実施。

時刻	事態	事故想定	要請・指示	対象自治体
訓練前日 ～	※後志地方に、大型台風が上陸 (大雨・暴風警報発表中)			
3:30		泊発電所3号機の定格熱出力一定運転中に、一次冷却材漏えい。 (1・2号機は停止中)		
4:00	EAL(AL)〔警戒事態〕 警戒事態発生通報	一次冷却材の漏えい量が増加し、原子炉手動停止。その後、加圧器水位低下のため非常用炉心冷却設備の手動作動	連絡体制の確立 PAZ要避難者の避難準備	関係13町村 PAZ(泊村・共和町)
6:00 ※想定	EAL(SE)〔施設敷地緊急事態〕 原災法第10条事象の発生通報	設備故障により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水が一部不能	PAZ要避難者の避難 PAZ住民の避難準備 UPZ住民の屋内退避準備 ※大雨・暴風警報発表中は、屋内退避を継続し、避難は天候や避難経路等の安全を確認の上、実施する。	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
8:30 訓練開始				
8:40	※大雨・暴風警報解除		PAZ要避難者避難開始	PAZ(泊村・共和町)
9:05	EAL(GE)〔全面緊急事態〕 原災法第15条事象の発生通報 →原子力緊急事態宣言発出	さらなる設備故障により、非常用炉心冷却設備による原子炉への注水不能	PAZ住民の避難 UPZ住民の屋内退避 ※大雨・暴風警報発表中は、屋内退避を継続し、避難は天候や避難経路等の安全を確認の上、実施する。	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
10:30時点で時間を2日間スキップ(放射性物質放出からOIL2超過区域の特定まで) (この間に放射性物質の放出・収束、余震発生)				
11:30			UPZ一部区域(OIL2超過区域)住民の一時移転	UPZ(岩内町、寿都町、蘭越町、二セコ町)
12:30	事故収束(格納容器スプレイの継続)の連絡	格納容器スプレイの継続により、格納容器圧力、温度の顕著な低下を確認(事態収束の方向)		
15:30 訓練終了				

*原子力発電所では、事故発生に備え、何重もの安全装置が設置されています。訓練においては、事故想定に沿って、これら安全装置が故障等により正常に作動しない事態を想定しました。

<防護対策区域>

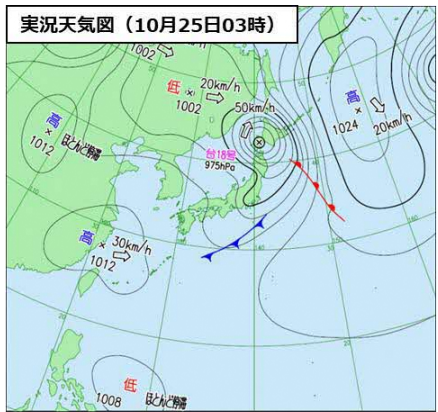


※避難対象自治体
 <PAZ> 泊村、共和町
 <UPZ> 岩内町、寿都町、蘭越町、二七〇町

※屋内退避対象自治体
 <UPZ> 泊村、共和町、神恵内村、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

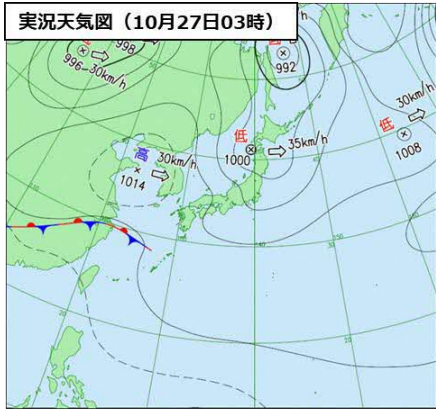
<台風想定>

(1) 10月25日3時00分の状況



【気象状況】
 ◆台風第XX号は北北東に進み、25日01時に檜山地方に再上陸した。後志地方には台風本体の雨雲がかかり、大雨のピークとなっている。
 ◆10月25日02時30分 蘭越町、二七〇町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、仁木町、余市町、赤井川村に土砂災害警戒情報を発表。

(2) 10月27日3時00分の状況



【気象状況】
 ◆上空に寒気を伴った低気圧の影響で、後志地方には活発な雷雲がかかり、局地的に大雨となっている。27日朝にかけて、大雨による土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒、落雷や突風に注意が必要。
 ◆10月27日00時15分 後志地方に大雨警報（土砂災害、浸水害）、洪水警報を発表。雷注意報を継続。
 ◆10月27日02時20分 蘭越町、二七〇町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、寿都町に土砂災害警戒情報を発表。

8 訓練内容

(1) 重点活動項目

次に掲げる事項を重点活動項目として、災害対策本部の設置運営訓練及び住民避難訓練などの要素訓練を組み合わせた総合訓練を実施した。

<重点活動項目>

- ◆緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練
 - ・各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況の収集・整理
 - ・スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有
 - ・台風及び大雨被害との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整
- ◆住民避難訓練
 - ・バス避難のための集合場所の開設
 - ・避難所の開設・運営
 - ・多様な手段による孤立地区等の住民避難
- ◆緊急時環境放射線モニタリング訓練
 - ・緊急時モニタリングセンター（EMC）を拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
 - ・緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達
 - ・空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析
- ◆原子力災害医療活動訓練
 - ・安定ヨウ素剤の緊急配布
 - ・避難地域時検査場所の開設・運営

(2) 各要素訓練

訓練項目ごとに主要活動項目を設定し、その活動に必要な対応動作や手順の確認を行った。

ア 災害対策本部等設置運営訓練

道及び関係13町村は、災害対策本部を設置し、事態の推移に応じて本部員会議やTV会議を開催し、本体内や防災関係機関と情報共有を図った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 北海道教育委員会 北海道警察本部	<本庁> <input type="checkbox"/> 道災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> 道本部員会議の開催（3階テレビ会議室） <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整 <OFC> <input type="checkbox"/> 道現地災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
関 係 1 3 町 村	<input type="checkbox"/> 各町村災害対策本部の設置・運営 <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> 住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 本店及び泊発電所にて原子力災害対策本部の設置・運営

<道災害対策本部員会議>



<道災害対策本部（指揮室）>



<道現地災害対策本部（OFC内）>



<災害対策本部員会議（泊村）>



<災害対策本部員会議（共和町）>



<災害対策本部員会議（岩内町）>



<災害対策本部員会議（寿都町）>



<災害対策本部員会議（蘭越町）>



イ 緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練

OFCに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員（30機関201名）が参集し、各機能班を設置するなどして、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら必要な情報共有を図り、台風及び大雨被害との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
内 閣 府 原 子 力 規 制 庁 泊原子力規制事務所 北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況を収集・整理 <input type="checkbox"/> スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有 <input type="checkbox"/> 台風及び大雨被害との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整 <input type="checkbox"/> 事態の推移に応じた防護措置の作成・取りまとめ <input type="checkbox"/> 原子力災害合同対策協議会の開催 <input type="checkbox"/> TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 <input type="checkbox"/> ヘリコプター・道路カメラからの映像伝送による情報収集

<原子力災害合同対策協議会>



<班長会議による情報共有>



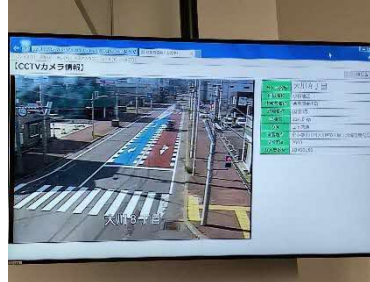
<住民避難経路の調整>



<TV会議による情報共有>



<映像伝送による避難経路等の共有>



道路カメラ

ヘリコプター

<機能班の活動>



住民安全班



総括班



医療班

ウ 緊急時通信連絡訓練

各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する防災関係機関相互の通報連絡及び関係機関への情報伝達を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
全 機 関	<input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線及び専用回線）、防災行政無線を用いた防災関係機関相互の通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難先自治体等への事故状況の伝達や避難受入要請

<関係機関への連絡>



OFC 住民安全班

<関係機関への連絡>



岩内町

エ 緊急時環境放射線モニタリング訓練

国の統括のもと、OFC内に緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置し、国、道、関係13町村、原子力事業者、関係指定公共機関と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
原 子 力 規 制 庁 北 海 道 関 係 1 3 町 村 原 子 力 事 業 者 関 係 指 定 公 共 機 関	<input type="checkbox"/> EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング実施計画に基づく空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析（測定162地点・2ルート） <input type="checkbox"/> 放射線モニタリング情報共有システム等によるモニタリング情報の収集、整理、確認及び報告 <input type="checkbox"/> OFC放射線班等への緊急時モニタリング結果の提供及び情報共有 <input type="checkbox"/> 緊急時モニタリング要員の被ばく管理

<EMCの活動>



OFC

<可搬型放射線計測機の設定へ出動>



OFC

<屋外活動要員の汚染検査>



OFC

オ 広報訓練

関係13町村の住民等に対し、防災行政無線や広報車等による広報のほか、緊急速報メールなど多様な手段を活用した広報を実施した。

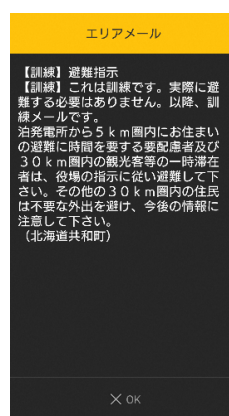
機 関	主 要 活 動 項 目
北海道 関係13町村 防災関係機関	<input type="checkbox"/> 防災行政無線や広報車などによる住民広報 <input type="checkbox"/> 電話及びFAX（一般回線）等を用い、関係13町村の要配慮者施設（医療機関・社会福祉施設等）や宿泊施設に対する情報伝達 <input type="checkbox"/> 緊急速報メールを活用し、多言語による避難指し等配信 <input type="checkbox"/> 道ホームページ・X（旧：Twitter）等を利用した多言語による情報発信

<広報車による住民広報>

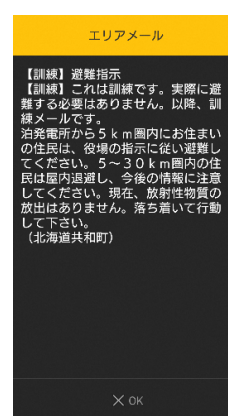


共和町

<緊急速報メール>



SE要配慮者避難指し



PAZ住民避難指し

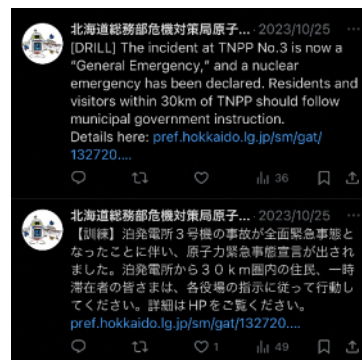
共和町

<防災行政無線による住民広報>



共和町

<X（旧：Twitter）発信>



北海道

カ 住民避難訓練

原子力災害対策指針に定められた防護措置の判断基準（EAL、OIL）を基本として、台風及び大雨被害との複合災害時において防災関係機関と連携しながら、各町村の避難計画に基づき、住民等の安全確保を優先して屋内避難や避難等の防護措置を段階的に実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	<input type="checkbox"/> バス避難のための集合場所の開設（レイアウト図の掲示） <input type="checkbox"/> バス等を利用した避難 <input type="checkbox"/> 要配慮者（児童や社会福祉施設入所者など）の屋内退避・避難 <input type="checkbox"/> 放射線防護施設における屋内退避・出入管理 <input type="checkbox"/> 避難受入自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営 <input type="checkbox"/> 避難所の開設（台風及び大雨被害により自宅での屋内退避が困難となった場合の避難所開設、外国人への多言語による情報伝達） <input type="checkbox"/> 陸路・空路を用いた孤立地域等の避難 <input type="checkbox"/> 避難経路確保のための道路啓開 <input type="checkbox"/> 警察官による緊急迂回路誘導 <input type="checkbox"/> バス運転手等民間事業者の防護対策（車両動態管理及び情報伝達）

※外国人対応訓練（相談対応、情報提供）

- ・災害時外国人支援センターの開設（北海道国際交流・協力総合センター（HIECC））
- ・観光客サポートステーションの開設（経済部観光局）

●参加者数 9,820 人（住民避難 427 人、屋内退避 9,393 人）

【避難指示区域】

※（ ）内は屋内退避者

区分	町村名	避難者数	避難方法
PAZ	泊 村	138 (-)	バス 8 台、普通車両 4 台、福祉車両 1 台
	共和町	140 (387)	バス 6 台、普通車両 5 台、福祉車両 2 台
UPZ	岩内町	33 (346)	バス 2 台、普通車両 2 台
	寿都町	41 (989)	バス 3 台、普通車両 1 台、福祉車両 1 台、北海道警察ヘリコプター 1 機
	蘭越町	18 (1,206)	バス 2 台、自衛隊装甲車 1 台
	二セコ町	34 (680)	バス 1 台、普通車両 1 台、自衛隊ヘリコプター 1 機
合 計		404 (3,608)	バス 22 台、普通車両 13 台、福祉車両 4 台、自衛隊装甲車 1 台、自衛隊ヘリコプター 1 機、北海道警察ヘリコプター 1 機

【その他区域】

町村名	避難者数	避難方法
UPZ 町村合計	23 (5,785)	倶知安町は独自訓練として避難等を実施（バス 1 台）

＜バス集合場所の受付（蘭越町）＞



蘭越町民センター

＜学校内での屋内退避＞



共和町西陵小学校

＜外国人への多言語による情報伝達＞



蘭越町民センター

＜自衛隊 装甲車による避難＞



蘭越町克雪管理センター

＜避難経路確保のための道路啓開＞



堀株地区集会所

＜バスによる避難（共和町）＞



ルスツリゾート

＜一時滞在場所の受付＞



北海きたえる

＜在宅要配慮者の防護施設への屋内退避＞



共和町保健福祉センター

＜避難所の開設・運営＞



蘭越町民センター

＜自衛隊 ヘリコプターによる救助＞



旧ニセコヘリポート



北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）

＜北海道警察 ヘリコプターによる救助＞



旧磯谷小学校

＜警察による迂回路への緊急誘導＞



避難経路（岩内町～札幌市）



寿都阿防炎広場

＜バス運転手への防護対策等の説明＞



後志総合振興局

キ 原子力災害医療活動訓練

関係医療機関等と連携して原子力災害時における医療活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 関 係 医 療 機 関 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<ul style="list-style-type: none"> □安定ヨウ素剤の緊急配布 □避難退域時検査場所〔倶知安町中央公園、ゆべつのゆ〕を開設し、避難車両や避難住民の検査、簡易除染 □医療機関〔岩内協会病院、北大病院〕への患者搬送（発電所内被ばく傷病者）と受入施設での医療措置

＜安定ヨウ素剤の緊急配布＞



岩内高等学校

＜避難車両の検査（ゲート型モニタ）＞



倶知安町中央公園



倶知安町中央公園

＜避難車両の検査（サーベイメータ）＞



倶知安町中央公園



ゆべつのゆ

＜避難車両の除染＞



倶知安町中央公園

＜避難車両の除染＞



ゆべつのゆ

＜避難住民の検査＞



倶知安町中央公園

＜避難住民の除染＞



倶知安町中央公園

＜原子力災害医療協力機関での被ばく傷病者受入れ＞



岩内協会病院



岩内町新港東ふ頭



北大病院

ク 物資緊急輸送訓練

避難所や一時移転指示区域内で屋内退避を継続している住民を支援するため、必要な飲食物等の生活必需物資の緊急輸送を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	<input type="checkbox"/> 陸路・海路による物資緊急輸送 <input type="checkbox"/> 放射線防護施設への物資・燃料の緊急輸送 <input type="checkbox"/> 輸送を担う民間事業者の防護対策

<海路による物資緊急輸送>



岩内港

<陸路による物資緊急輸送>



岩内高校

<放射線防護施設への燃料供給>



岩内あけぼの学園

<放射線防護施設への物資供給>



岩内あけぼの学園



岩内あけぼの学園

ケ その他

(事故拡大防止訓練)

泊発電所において、全交流電源喪失時に給電機能を担う非常用ディーゼル発電機及び代替非常用発電機からの給電が不能となった場合に備え、代替手段として可搬型代替電源車を準備し、3号機への給電を実施した。

(住民研修会)

原子力防災対策に係る知識の普及啓発を図るため、原子力防災に関する住民研修会を開催した。

<可搬型代替電源車による給電>



北海道電力(株) 泊発電所





<共和町の住民研修会>




















ルスツリゾート

9 訓練イベント時刻

<意思決定訓練>

場所	官邸・ERC (本訓練ではOFC)	北海道原子力防災センター (OFC)	北海道災害対策本部 (道庁)	町村災害対策本部 (関係13町村)
実施内容等	○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議)	○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議) ○各機能班活動	○災害対策本部員会議 ○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議) ○指揮室運営	○災害対策本部員会議 ○原子力災害合同対策協議会全体会議 (TV会議) 等
8:30 訓練開始				
9:25	緊急事態宣言			
9:30	官邸 (TV会議)	副知事 副町村長ほか	9:30~9:45 第1回原子力災害合同対策協議会全体会議	知事 (TV会議) 13町村長 (TV会議)
9:45~10:05			9:45~10:05 道災害対策本部員会議	知事
9:45~10:05				9:45~10:05 町村災害対策本部員会議
10:30				
48時間経過を想定				
11:30		副知事 副町村長ほか	11:30~11:45 第×回原子力災害合同対策協議会全体会議	知事 (TV会議) 13町村長 (TV会議)
11:45~12:00			11:45~12:00 道災害対策本部員会議	知事
11:45~12:00				11:45~12:00 町村災害対策本部員会議
15:00	副知事 副町村長ほか		15:00~15:30 第Y回原子力災害合同対策協議会全体会議	
15:30 訓練終了				

実動訓練

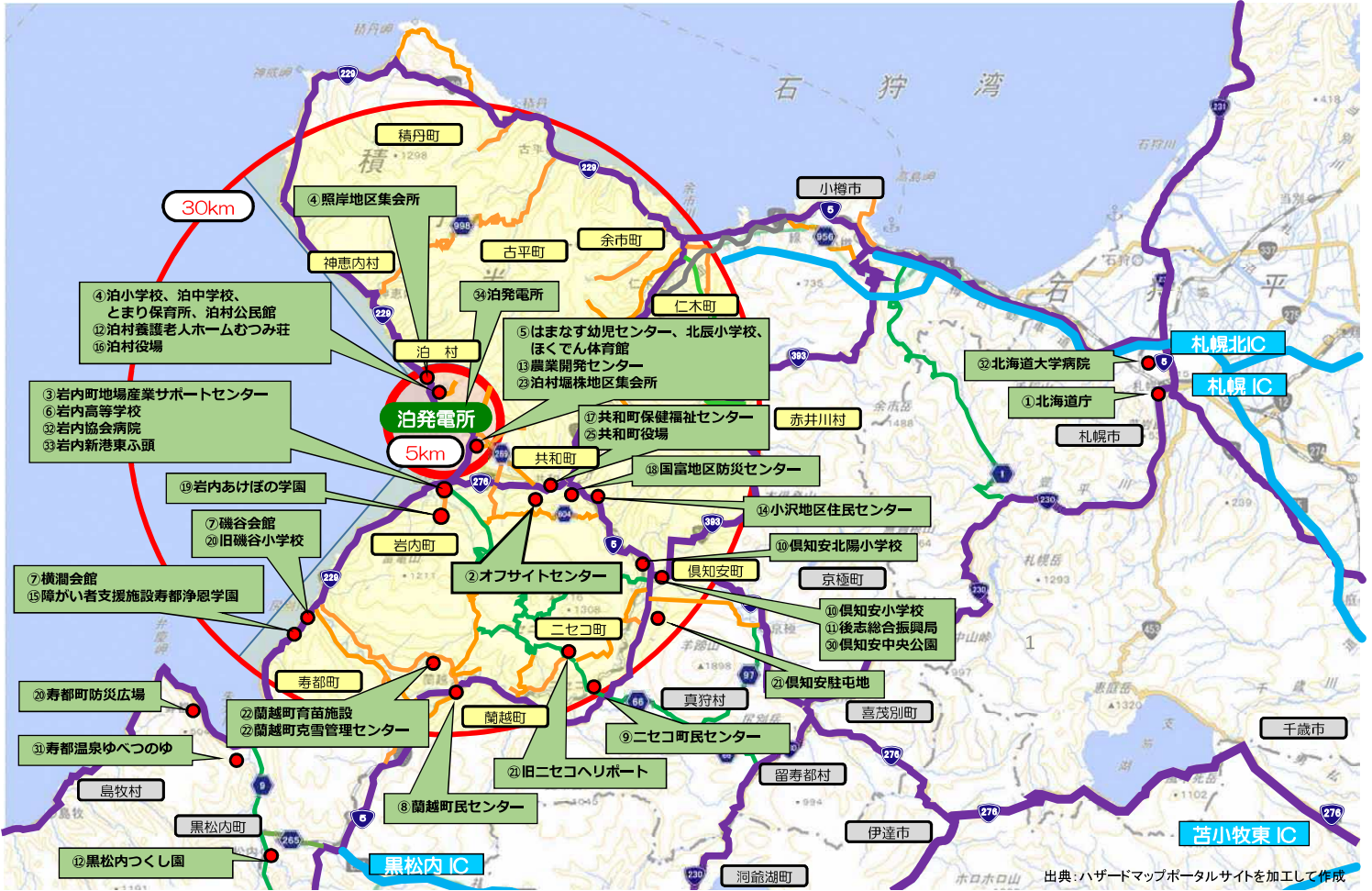
訓練開始									
8:30									
9:00	放射線防護施設の運用 【治村】  治村役場 8:40~9:10	放射線防護施設の運用 【共和町】 共和町保健福祉センター	安定ヨウ素剤 緊急戸別配布 【共和町】 8:35~9:40		車両動態管理・ 情報伝達  【オフサイトセンター】 8:30~15:30		被災く傷病者搬送 		
9:30	PAZ施設敷地緊急事態 要配慮者 避難開始 【治村】 治村養護老人ホームむつみ荘 ~ 黒松内つくし園 9:20~	PAZ施設敷地緊急事態 要配慮者 屋内退避 【共和町】 農業開発センター ~ 共和町保健福祉センター 9:40~10:20	PAZ施設敷地緊急事態 要避難者 避難開始 【治村】 とまり保育所 9:10~ 治小小学校 9:15~ 治中学校 9:15~ 【共和町】 はまなす幼児センター 9:30~ 北辰小学校 9:30~ ほくでん体育館 9:40~	複合災害に伴う 避難所開設・運営 【蘭越町】 蘭越町町民センター 9:30~11:30	住民広報 (全面緊急事態) 道HP・X(旧Twitter)、ヤフー防 災速報アプリ、防災行政無線 9:45		【治発電所】 救急車搬送 9:00 ↓ 【岩内協会病院】 傷病者受入、除染 10:10 ↓ 【岩内町新港東ふ頭】 ヘリ搬送 10:30 ↓ 【丘珠空港】 救急車搬送 11:25 ↓ 【北海道大学病院】 傷病者受入 13:30	緊急時モニタリング  	UPZ要配慮者 避難開始 【寿都町】 寿都浄忍学園 ~ 札幌育成園 9:25~
10:00	安定ヨウ素剤緊急配布 【岩内町】 バス車中 12:00~ 【寿都町】 バス車中 10:00~ ゆべつゆ 10:00~ 【蘭越町】 バス車中 12:00~ 【ニセコ町】 バス車中 12:00~ 倶知安中央公園 12:30~	UPZ住民一時移転開始 【寿都町】 磯谷会館 10:00~ 横溝会館 10:00~	巡視船による物資緊急輸送 【岩内町】  岩内新東ふ頭 10:00~10:10 岩内高等学校 10:20~10:30	外国人避難者相談等対応 災害時外国人支援センター 蘭越町町民センター 10:00~11:25	道路カメラ映像伝送  【オフサイトセンター】 10:20~10:30		車両中継ポイントの 開設・運営 【倶知安町】 	○モニタリングカー出動 OFC出発 9:30~ ○可搬型モニタリングポストに よる代替測定 (岩内町地場産業 サポートセンター) 9:50~10:15	UPZ要配慮者 避難開始 【岩内町】 岩内あけぼの学園 ~ 清水旭山学園 10:00~
10:30				PAZ住民 避難開始 【治村】 治村公民館 10:25~ 照岸地区集会所 10:25~ 【共和町】 ほくでん体育館 10:25~			後志総合振興局 10:10~13:00頃		
11:00		放射線防護施設の運用 【共和町】 国富地区防災センター 10:50~		道路啓開 【治村】 治村郷株地区集会所 11:00~11:50			避難区域時検査 		UPZ要配慮者 避難開始 【岩内町】 岩内あけぼの学園 ~ 太陽の園 11:00~
11:30			警察官による避難経路 緊急迂回誘導  避難経路 (岩内町~札幌市) 11:15~14:00	住民広報 (一時移転) 道HP・X(旧Twitter)、ヤフー防 災速報アプリ、防災行政無線 11:45	道路カメラ映像伝送 【オフサイトセンター】 11:50~12:00				
12:00		PAZ要配慮者 屋内退避 【共和町】 小沢地区住民センター ~ 国富地区防災センター 12:00~12:30	UPZ住民一時移転開始 		ヘリテレ映像伝送 【オフサイトセンター】 12:30~12:40				
12:30			【岩内町】 岩内高校 12:00~ 【蘭越町】 蘭越町町民センター 12:00~ 【ニセコ町】 ニセコ町民センター 12:30~	孤立住民救出(ヘリ)  【ニセコ町】 旧ニセコヘリポート 離陸 12:50 【倶知安町】 倶知安駐屯地 着陸	孤立住民救出(装甲車)  【蘭越町】 蘭越町育苗施設 13:00、13:20 蘭越克雪管理センター 13:10、13:30				治発電所 事故拡大防止 【治発電所】 13:00~
13:00			孤立住民救出(ヘリ) 【寿都町】 旧磯谷小学校 離陸 14:00 【寿都町】 寿都町防災広場 着陸 14:20				11:00~14:30 【倶知安町】 倶知安中央公園 (車両検査・住民検査) 【寿都町】 寿都温泉ゆべつゆ (車両検査)	放射線防護施設への物資緊急 輸送・燃料供給 【岩内町】 岩内あけぼの学園 13:45~14:15	
13:30									
14:00									
14:30									
15:00									
15:30				観光客緊急サポートステーショ ン開設・運営  【道庁】 15:15~16:30					
16:00									
16:30	訓練終了								

10 住民避難訓練整理表

避難元町村	輸送手段等	避難退域時検査	一時滞在場所	避難先	
PAZ					
泊村	〈泊小学校〉58人 スクールバス2台 村公用車1台	※きのご王国まで	札幌市南区体育館 (札幌市南区)	アパホテル&リゾート(札幌) (札幌市南区)	
	〈泊中学校〉42人 道借上バス2台				
	〈泊村公民館・照岸地区集会所〉21人 道借上バス1台 福祉バス1台 村公用車1台 自家用車2台				
	〈とまり保育所〉7人 道借上バス1台 7人				
	〈むつみ荘(福祉施設)〉10人 道借上バス1台 福祉車両1台				
共和町	〈はまなす幼児センター〉30人 町村バス1台 町公用車2台	【放射線防護施設への屋内退避】	ルスツリゾート (留寿都村)	アパホテル&リゾート(札幌) (札幌市南区) 【想定】	
	〈北辰小学校〉83人 道借上バス3台 町公用車1台				
	〈ほくでん体育館〉25人 町村バス1台 道借上バス1台 町公用車2台				
	【在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避】 〈農業開発センター(自宅見立て)〉1人 福祉車両1台				
	【在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避】 〈小沢住民センター(自宅見立て)〉1人 福祉車両1台				
UPZ	岩内町	〈岩内高等学校〉28人 道借上バス2台	倶知安町中央公園 (倶知安町)	北海きたえーる (札幌市豊平区)	札幌市内ホテル 【想定】
		〈岩内あけぼの学園〉5人 社用車1台	倶知安町中央公園 (倶知安町) 【想定】	太陽の園 (伊達市)	
	寿都町	〈磯谷会館・横淵会館〉11人 道借上バス2台	寿都温泉ゆべつゆ (寿都町)	札幌市北区体育館 (札幌市北区) 【想定】	札幌市内ホテル 【想定】
		〈旧磯谷小学校(孤立)〉 道警ヘリ1機	〈寿都町防災公園〉 道警公用車1台		
		〈歌葉慈光園(福祉施設)〉14人 町村バス1台 福祉車両1台	寿都温泉ゆべつゆ (寿都町) 【想定】		
〈寿都浄土学園(福祉施設)〉16人 町村バス1台 13人 福祉車両1台 3人					
蘭越町	〈蘭越町民センター〉18人 道借上バス1台	倶知安町中央公園 (倶知安町)	札幌コンベンションセンター (札幌市白石区) 【想定】	札幌市内ホテル 【想定】	
	〈育苗施設(孤立)〉 自衛隊装甲車1台				〈克雪管理センター〉 道借上バス1台
ニセコ町	〈ニセコ町民センター〉34人 道借上バス1台	倶知安町中央公園 (倶知安町)	札幌市白石区体育館 (札幌市白石区) 【想定】	札幌市内ホテル 北広島市内ホテル 【想定】	
	〈旧ニセコヘリポート(孤立)〉 自衛隊ヘリ1機				〈倶知安駐屯地〉 町公用車1台
倶知安町 (独自訓練)	〈倶知安北陽小学校・倶知安小学校〉23人 道借上バス1台		登別市総合体育館 (登別市)	ホテルゆもと登別 (登別市)	

※輸送手段等の人数は一般住民、役場職員、道職員も含む人数

令和5年度（2023年度）北海道原子力防災総合訓練の主な実施場所



出典：ハザードマップポータルサイトを加工して作成

①北海道庁（札幌市中央区北3条西6丁目）	災害対策本部等設置運営訓練【8:30～15:30】 外国人避難者相談対応訓練【10:00～11:25】 観光客緊急サポートステーション開設・運営訓練【15:15～16:30】 緊急事態応急対策等拠点施設運営訓練【8:30～15:30】 緊急時モニタリング実動訓練（走行サーベイ車（モニタリングカー）の出勤）【9:30頃】 車両動態管理・情報伝達訓練【8:30～15:30】 緊急時モニタリング実動訓練（可搬型モニタリングポストによる代替測定）【9:50～10:15】
②オフサイトセンター（共和町南幌似141-1）	泊村住民避難訓練【泊小学校9:00～、泊中学校9:00～、とまり保育所9:00～、泊村公民館9:50～、照岸地区集会所9:50～】
③岩内町地場産業サポートセンター（岩内町大沢476-28）	
④泊小学校（泊村森村134-1） 泊中学校（泊村茅沼村南坂ノ上6-3） とまり保育所（泊村郷株地区ノ瀧223-3） 泊村公民館（泊村茅沼村172-7） 照岸地区集会所（泊村25）	泊村住民避難訓練【泊小学校9:00～、泊中学校9:00～、とまり保育所9:00～、泊村公民館9:50～、照岸地区集会所9:50～】
⑤はまなす幼児センター（共和町梨野圃納330-1） 北辰小学校（共和町発足2900） ほくでん体育館（共和町宮丘184-34）	共和町住民避難訓練【はまなす幼児センター9:10～、北辰小学校9:10～、ほくでん体育館9:10～・9:55～】
⑥岩内高等学校（岩内町高園43-1）	岩内町住民避難訓練【11:30～】 巡視船による物資緊急輸送訓練【10:00～10:30】（岩内新港東ふ頭 → 岩内高等学校）
⑦磯谷会館（寿都町磯谷町島古丹1） 横瀬会館（寿都町磯谷町横瀬1）	寿都町住民避難訓練【磯谷会館9:20～、横瀬会館9:20～】
⑧蘭越町民センター（蘭越町蘭越町43-1）	複合災害に伴う避難所開設・運営訓練【9:30～11:30】 蘭越町住民避難訓練【10:00～】 外国人避難者相談対応訓練【10:00～11:25】 ニセコ町住民避難訓練【10:30～】
⑨ニセコ町民センター（ニセコ町富士見95）	倶知安町住民避難訓練【倶知安北陽小学校8:30～、倶知安小学校8:30～】 車両中継ポイント運営訓練【10:00～14:00】
⑩倶知安北陽小学校（倶知安町北6条西2丁目1） 倶知安小学校（倶知安町南3条東3） ⑪後志総合振興局（倶知安町北1条東2丁目） ⑫泊村養護老人ホームむつみ荘（泊村茅沼村711-3） 黒松内つくし園（黒松内町黒松内562-1）	泊村要配慮者避難訓練【9:20～10:30】（養護老人ホームむつみ荘 → 黒松内町つくし園）
⑬農業開発センター【自宅見立て】（共和町宮丘184-11） ⑭小沢地区住民センター【自宅見立て】（共和町小沢R95-256） ⑮障がい者支援施設寿都浄恩学園（寿都町磯谷町横瀬1128） ⑯泊村役場（泊村茅沼村白別191-7）	共和町要配慮者屋内退避訓練【9:40～10:20】（農業開発センター → 共和町保健福祉センター） 共和町要配慮者屋内退避訓練【12:00～12:30】（小沢地区住民センター → 国富地区防災センター） 寿都町要配慮者避難訓練【9:25～】（寿都浄恩学園 → 札幌育成園（想定）） 放射線防護施設運営訓練【8:40～9:10】 放射線防護施設運営訓練【8:45～9:45】 共和町要配慮者屋内退避訓練【9:40～10:20】（農業開発センター → 共和町保健福祉センター） 放射線防護施設運営訓練【10:50～12:10】 共和町要配慮者屋内退避訓練【12:00～12:30】（小沢地区住民センター → 国富地区防災センター） 放射線防護施設運営訓練【9:45～10:00】 岩内町要配慮者避難訓練【10:00～16:00】（岩内あけぼの学園 → 太陽の園（伊達市）・旭山学園（清水町）） 放射線防護施設への物資緊急輸送・燃料供給訓練【13:35～14:15】
⑰共和町保健福祉センター（共和町南幌似57-12）	孤立地域からの空路（ヘリ）避難訓練【14:00～14:25】（ヘリ：旧磯谷小学校 → 寿都町防災広場）
⑱国富地区防災センター（共和町国富31-1）	孤立地域からの空路（ヘリ）避難訓練【12:50～13:20】（ヘリ：旧ニセコヘリポート → 倶知安駐屯地）
⑲岩内あけぼの学園（岩内町野東210）	孤立集落からの装甲車による避難訓練【13:00～13:35】（装甲車：蘭越町育苗施設 → 蘭越町可雪管理センター）
⑳旧磯谷小学校（寿都町磯谷町島古丹） 寿都町防災広場（寿都町渡島町156）	道路啓開訓練【11:00～11:50】 避難経路緊急巡回誘導訓練（ブラインド方式）【11:15～14:00】 安定ヨウ素剤緊急戸別配布訓練【8:35～9:40】（共和町役場→戸別配布（配布地区：ヤチナイ地区）） 安定ヨウ素剤緊急配布訓練【12:00～】 安定ヨウ素剤緊急配布訓練【10:00～】 安定ヨウ素剤緊急配布訓練【12:00～】 安定ヨウ素剤緊急配布訓練【12:30～】
㉑旧ニセコヘリポート（ニセコ町ヘリポート） 倶知安駐屯地（倶知安町高砂232-2）	避難地域時検査訓練【11:00～14:30】 避難地域時検査訓練【11:00～14:30】（※車両検査のみ）
㉒蘭越町育苗施設（蘭越町字吉園1037-1） 蘭越町可雪管理センター（蘭越町字富岡413）	
㉓泊村郷株地区集会所【道路見立て】（泊村郷株村35-1） ㉔岩内町避難経路（国道276号） ㉕共和町役場（共和町南幌似38-2） ㉖岩内町避難バス車内 ㉗寿都町避難バス車内 ㉘蘭越町避難バス車内 ㉙ニセコ町避難バス車内	被災者緊急搬送訓練【9:00～15:00】（北海道大学病院受入13:30頃） 被災者緊急搬送訓練【9:00～15:00】（北海道大学病院受入13:30頃） 巡視船による物資緊急輸送訓練【10:00～10:30】（岩内新港東ふ頭 → 岩内高等学校） 被災者緊急搬送訓練【9:00～15:00】（北海道大学病院受入13:30頃） 泊発電所事故拡大防止訓練【13:00～15:00】
㉚倶知安中央公園（倶知安町南3条東4丁目4-3） ㉛寿都温泉ゆべつゆ（寿都町湯別町下湯別462-1） ㉜岩内協会病院（岩内町字高台209-2） 北海道大学病院（札幌市北区北14条西5丁目）	
㉝岩内新港東ふ頭（岩内町大沢）	
㉞北海道電力（株）泊発電所（泊村郷株村）	

12 事前準備・結果報告等

(1) 会議等

地元自治体や防災関係機関との会議等を開催し、訓練計画・項目・内容などについて、協議・調整を行うとともに、実施結果について報告を行った。

開催年月日	会議名等
令和5年 4月26日	原子力防災関係機関担当者会議（国、関係13町村、防災関係機関）
令和5年 7月31日	原子力防災に関する連絡会議（関係市町村）
令和5年 9月12日	原子力防災関係機関担当者会議（国、関係13町村、防災関係機関）
令和5年10月10日	泊地域原子力防災協議会作業部会（国、関係13町村、防災関係機関）
令和5年10月11日	原子力防災関係機関担当者会議（国、関係13町村、防災関係機関）
令和5年12月21日	原子力防災関係機関担当者会議（国、関係13町村、防災関係機関）
令和6年 1月16日	北海道防災会議

(2) 北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員会

北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員から訓練内容について専門的見地からの意見を伺うとともに、有識者専門委員（学識経験者）による訓練視察を行った。

- ・令和5年10月13日 有識者専門委員会
- ・令和5年10月25日 有識者専門委員による訓練視察

(3) 住民等への周知

訓練の実施について、道及び関係13町村のホームページや広報誌への掲載のほか、「原子力防災だより」等の各戸への配付を通じて、住民への周知を行った。

- ・令和5年 9月～ 関係町村広報誌に掲載
- ・令和5年10月 「原子力防災だより」を後志総合振興局管内の全戸に配付
- ・令和5年10月 「訓練リーフレット」を関係13町村の全戸に配布
- ・令和5年10月 道ホームページに「訓練実施要綱」、「原子力災害に備えた屋内退避マニュアル」掲載（50ページ参照）
- ・令和6年 3月 記録動画をYouTubeで公開

(4) その他

- ・令和5年10月 6日 北海道議会総務委員会に訓練実施計画を報告
- ・令和5年11月 7日 北海道議会総務委員会に訓練実施結果を報告

第2 外国人観光客等避難誘導訓練（要素訓練）

1 目的

原子力災害時において、外国人観光客等の避難が円滑に行われるよう、国際交流団体や宿泊施設等との連携のもと、地域住民や日本人観光客への対応とともに外国人への多言語による情報伝達や避難誘導等を行う訓練を実施し、緊急時の対応手順の確認や防災対策に関する理解促進を図る。

2 実施日時

令和6年（2024年）2月14日（水） 9:50～12:00

3 主催

北海道、蘭越町

4 場所 [実動訓練場所]

蘭越町交流促進センター幽泉閣（避難誘導）、昆布活性化センター（避難所）

5 対象施設

北海道電力（株） 泊発電所（3号機）

6 参加機関

蘭越町交流促進センター幽泉閣、(公社)北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）、北海道電力(株)（5機関、51人（外国人観光客、住民等を含む。））

7 訓練想定

後志地方を震源とする地震が発生し、泊村において震度6弱を観測。地震後、何らかの原因で、北海道電力(株)泊発電所3号機において、設備故障により原子炉の一次冷却材が漏えいし原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

8 訓練内容

- (1) 蘭越町と宿泊施設の通信連絡
 - ・蘭越町から幽泉閣に対し、警戒事態の発生と、地震による停電を受けた避難所開設について、通信連絡を実施。
- (2) 宿泊施設における多言語による観光客への情報伝達及び避難誘導
 - ・幽泉閣に宿泊している観光客（外国人及び日本人）に対し、災害状況等の情報伝達、避難所への誘導を実施。
- (3) 避難所開設及び多言語による情報伝達
 - ・昆布活性化センターに避難所を開設し、観光客及び地域住民の受付等を実施。
 - ・観光客及び地域住民に対し、災害状況等の情報伝達、個別相談等を実施。
(災害時外国人支援センターによるリモートでの個別相談の実施)

<蘭越町との通信連絡>



幽泉閣

<多言語による情報伝達>



幽泉閣

<多言語による避難誘導>



幽泉閣～昆布活性化センター

<避難者名簿の記入>



昆布活性化センター

<多言語による情報伝達（全体説明）>



昆布活性化センター

<多言語による情報伝達（個別相談）>



昆布活性化センター

<多言語による情報伝達（安定ヨウ素剤配付）>



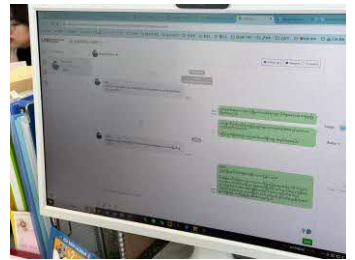
昆布活性化センター

<多言語による個別相談>



災害時外国人支援センター（HIECC）

<多言語による情報伝達（SNS）>



9 事前準備・結果報告等

(1) 会議等

地元自治体や防災関係機関との会議等を開催し、訓練計画・項目・内容などについて、協議・調整を行った。

開催年月日	会議名等
令和6年 2月 1日	原子力防災関係機関担当者会議（国、関係13町村、防災関係機関）

(2) 住民等への周知

訓練の実施について、道のホームページに掲載し、住民への周知を行った。

- ・令和5年 2月 道ホームページに「訓練実施計画」掲載

(3) その他

- ・令和5年 2月 6日 北海道議会総務委員会に訓練実施計画を報告
- ・令和5年 2月20日 北海道議会総務委員会に訓練実施結果を報告

第3 課題等整理表

1 総合訓練

〈関係機関等事後調査結果〉

(1) 災害対策本部等設置運営訓練に関すること

課題・指摘(●)・良好事項(○)	対応(方向性)・助長策
○NISS を使用した広報等の報告方法の習熟度が上がった事により、昨年度に比べ、適切な時刻での報告を行えた。	関係機関と協議し、より実効的な訓練となるよう努める。
○関係 13 町村が参加する会議については、町長発話等含め円滑に実施できた。	
○昨年同様、第 1 回原子力災害合同対策協議会全体会議前に町災害対策本部員会議を実施し、事故の概要及び今後の町の対応要領の徹底等会議実施要領について訓練することができた。	

(2) 緊急事態応急対策等拠点施設 (OFC) 運営訓練に関すること

課題・指摘(●)・良好事項(○)	対応(方向性)・助長策
○活動がスムーズにできた。状況付与を増やし、負荷をかけることも必要。	関係機関と協議し、より実効的な訓練となるよう引き続き訓練内容を検討していく。
●OIL 2 におけるブラインドのシナリオ部分を除いては、台本が淡々と進行している感は否めなくブラインドの部分をもう少し増やす工夫が欲しかった。	
○訓練開始前に班長から班員に対し、本日の役割分担を伝達し、明確な指示のもと行動することができた。	OFC 要員は毎年度指定しており、引き続き、研修会の開催や訓練参加者の確保など、実災害時における体制確保に努める。
○役割分担について、活動が始まる前に整理ができた。事前に運営支援班の役割詳細を確認できる時間が取れるとよかった。	
●班内の役割分担は適切にできたが、実災害においては人員不足が懸念される。また、今回の訓練では、状況によっては本来の対応者が対応できない場面もあった。班内での他者の役割、現在対応している事項を可能な限り共有・把握し、代理での対応をスムーズにできるよう備えておくと良い。	

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○情報管理について、NISSを確認しながら、主要活動ボードに必要な情報を入れることができた。	<p>NISS 操作については、内閣府主催の「原子力災害現地対策本部演習」や事前説明会の場を活用し、説明しているところであり、引き続き、要員に対して周知に努める。</p> <p>なお、メールは特定の組織間で共有・調整する場合、クロノロジーは全員に共有・周知する場合に使用することとしており、引き続き、要員への周知に努める。</p>
○情報共有について、主要活動ボードの記載担当で、概ねできたと思う。	
○会議資料の作成について、クロノロにて状況を確認し、指定されたフォルダに時間内に格納し、紙を指定された場所に提出できた。	
●NISS のクロノロ or メールか参加団体で使用方法を統一すべき。	
<p>●活動を通して、NISS 操作の基本ルールが徹底されていない印象を受けた。具体的には、以下3点。</p> <p>①「クロノロ」、「メール」の使い分けができていない。</p> <p>②タイトル冒頭に、宛先組織・班名の記載がない。</p> <p>③案件に関係する機能班への配布（CC）がない。</p> <p>内閣府主催の「原子力災害現地対策本部図上演習」や事前説明会の場を活用し、機器操作を習熟することを推奨する。</p>	
○班内で適切に情報共有できていた。輕易に情報共有できるように、可搬型のスクリーンを準備することも一案。	<p>より実効的な体制となるよう必要な整備等について、引き続き、内閣府及び原子力規制庁に要望していく。</p>
●情報共有について、機能班内での打ち合わせスペースがあると、なお情報共有がしやすい。地図を配置できるような打合せスペースが必要である。	
●情報共有について、住民安全班は要員数が多いため、口頭での情報共有用に小型の拡声器があると便利である。	
<p>●実動組織とは PC 等によるネットワーク化がなされていないことから直接、情報を共有する手段が整備されていない。実動組織のブースにも NISS クロノロを閲覧できる PC が配置されていたが、海保ブースには当該 PC が配置されていなかったことから改善を要する。</p> <p>OFC に派遣される実動組織の部隊やリエゾンの派遣元実動組織の機関と協力して、平素から情報共有手段について検討する必要がある。</p>	

(3) 緊急時通信連絡訓練に関すること

課題・指摘 (●)・良好事項 (○)	対応 (方向性)・助長策
○受信した通信連絡の内容を即時に確認できた。また適切なタイミングで通信連絡がもたらされていた。	各町村において適切な情報共有ができるよう、研修会や訓練等を通じて、防災担当以外の職員の対応力向上に努める。
○原子力防災NWを使用して、原子力災害時の情報共有要領について確認できた。積極的に毎月の通信連絡訓練に参加し、各機器の取扱いの習熟度を高める。	
○各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する通報連絡及び情報伝達を円滑に実施することができた。例年同じ担当職員が実施しているため、町としての対応能力の向上 (要員確保を含む。) のため、可能な限り、同部署の職員を含めて訓練に参加する。	
●訓練参加職員の偏り (防災担当のみ)。本訓練に防災担当以外の職員を参加させる。	

(4) 緊急時環境放射線モニタリング訓練に関すること

課題・指摘 (●)・良好事項 (○)	対応 (方向性)・助長策
○指示書の連絡、状況確認を漏れなく実施できた。9町村から状況報告の電話連絡が次々と来るため、指示書が重なると混乱する。落ち着いて対処する必要がある。	事前訓練等を通じて、引き続きモニタリング要員の能力向上を図っていく。
○班内でコミュニケーションを取り、的確に情報を送信することができた。割り振られた業務以外にも、気付いたことなどを積極的に発信するようにする。	
○事前研修や訓練を受講し、当日はスムーズに作業を実施できた。今後も積極的に事前研修・訓練を行ってほしい。	
○緊急時モニタリング訓練 (総合コース) に参加することで、当日も不安なく活動することができた。事前訓練等に参加し、当日までに不明・疑問点を解決しておく。	
●可搬型ヨウ素サンプラの設置・回収は実施できた。事前練習になかった車の座席養生やカラーコーン設置があったため、事前練習・説明の内容に加えるとともに、指示書に記載する等の対策が必要。	より効率的なモニタリングが確実に実行できるよう、指示書の内容や要員への周知について引き続き検討し、事前訓練等を通じて改善を図っていく。

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
●機材が揃っていないかった。ビニールテープ、試料を入れる小さい袋等、事前に確認、準備が必要。	必要なモニタリング資機材の整備に努める。
●指示書添付の走行指示地図が A4 版で小さく見づらい。A3 版くらいに大きくしてほしい。	
●帰庁連絡がない、作業連絡がない等、要員によって対応に差があった。指示の徹底が必要。	事前訓練等を通じて、引き続きモニタリング要員の能力向上を図っていく。
●NISS で受信したメールを班内に周知する役割だったが、最初はどの情報が必要か不必要なのかが分かりづらかった。	

（５）広報訓練に関すること

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○防災無線での屋外・戸別の放送やエリアメール配信を滞りなく行うことができた。	引き続き訓練や研修等を通じ、要員の対応力向上に努める。
●緊急速報メールを活用した情報発信に対し、住民から周知不足の指摘がなされた。あらゆる手段を活用し、事前周知に努める。	各町村において、日頃から住民に対する原子力防災に関する普及啓発に努める。

（６）住民避難訓練に関すること

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○ヘリコプターによる避難において、ヘリコプター着陸場所と住民待機場所までの距離は十分確保されており、安全管理が徹底されていた。また、ヘリ着陸前には、北海道警察及び現地要員が周辺道路において交通規制（一般車両のう回路への誘導）を行う等、安全管理が徹底されていた。	より実効的な訓練となるよう、引き続き、関係機関と協議し、訓練内容を検討していく。
○緊急迂回路誘導訓練では、バス車内において、同乗している職員は、岩内町対策本部、OFC 住民安全班とスマホ IP 無線サービス(buddycom)で連絡を取り、決定した迂回路の説明をバス運転手へ行うとともに、住民に対しても状況を伝達する等、情報伝達が適切に行われていることを確認した。	
●今回のヘリコプターによる避難は、避難住民が一般住民の想定で実施されたが、今後は、要配慮者（高齢者や乳幼児等）を避難住民にするなど、より厳しい条件にて訓練を実施し対応能力を高めることを提案する。	

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
<p>●緊急迂回路誘導訓練において、迂回路への誘導は、誘導員2名と看板1枚であったが、近づかないと分からない状況であった。悪天候や夜間等の条件を考慮し、看板は複数設置する、目立つものにする等の改善が必要である。また、誘導箇所の手前に誘導員1名を配置し、誤誘導が無いような対策を行うことも一案である。</p>	<p>より実効的な訓練となるよう、引き続き、関係機関と協議し、訓練内容を検討していく。</p>
<p>○蘭越町民センターでは、「受付」「トイレ」「相談窓口」等の案内看板や訓練内容・事故状況説明の掲示物に、英語、ベトナム語の表記がしっかり大きく見やすく表示されており、外国人避難者に対する適切な情報提供が行われていたことにより、受付での混雑・滞留もなく訓練が円滑に行われた。</p>	<p>関係機関と協議・検討し、引き続き外国人を含む住民へのわかりやすい会場設営・状況説明に努める。</p>
<p>○災害時外国人支援センターとのZOOMを用いた相談対応では、支援センター、蘭越町職員共にはっきりとした口調で説明が行われ、通訳による意思疎通がスムーズに行えた。また、蘭越町職員のなかでも英語を話せる職員がおり、サポート的に通訳も行っていた。</p>	
<p>○道路啓開訓練では、道路維持作業者に対する状況説明、防護服の着衣、重機を使用した道路啓開作業、防護服の脱衣及び線量管理を行い、道路啓開作業の一連の手順を確認できた。</p>	<p>引き続き、訓練や研修等を通じ、原子力災害特有の対策等について理解が得られるよう努める。</p>
<p>●道路啓開訓練は、作業員2名と少人数で実施されたため、円滑に行うことができたが、実災害時はさらに多くの作業員が必要と想定されることから、訓練規模を拡大するとともに、厳しい条件（雨、雪等）のもとで訓練を行うことを提案する。</p>	
<p>○車両中継ポイント運営訓練では、車両中継ポイント（後志振興局）にてバス運転手への防護資機材の配布及び説明が円滑に行われ、一連の手順を確認できた。</p>	<p>引き続き、訓練や研修等を通じ、説明要員の対応力向上に努める。</p>
<p>●車両中継ポイント運営訓練において、説明員に対しバス運転手から避難所までの経路について質問された（岩内町への旧道使用）際に、明確な回答がされなかった。実災害時には多数の質問が出ることも想定され、回答に時間を要した場合、バスの出発が遅れる等、住民避難に多大な影響を与えることから、避難経路等の決定事項は明確に回答できるように準備をするとともに、平時から想定Q&Aを準備しておくことが望ましい。</p>	

(7) 原子力災害医療活動訓練に関すること

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○避難退域時検査の住民検査会場は、各ブースが動線に沿った配置であり適切なレイアウトであった。また、床には矢印で動線が描かれており、住民にとって分かりやすい会場設営であった。	<p>国のマニュアルを踏まえ、より適切な会場配置や要員装備について、関係機関と協議・検討していく。</p>
○俱知安中央公園での避難退域時検査については、手順に沿った円滑な対応ができていた。	
●避難退域時検査の車両検査会場では、ゾーニングライン（ホット、コールド、必要であればウォーム）が明確でなかった。要員以外の者が立ち入る可能性があるため、掲示による明確化を推奨する。	
●検査場所のレイアウトについて、入口、出口が同じ場所のため、車両が増えた場合に円滑な対応ができるか。仮に、今後も同じレイアウトの場合、検査済車両のＵターン、車両のすれ違いの円滑な誘導方法について訓練した方がよい。	
●避難退域時検査の車両検査会場では、検査要員の装備（職員はガウン着用、自衛隊は平服＋ビブス）が統一されていなかった。平時から、北海道及び関係機関において装備について調整し、統一した装備で対応することを推奨する。	
●原子力災害医療活動訓練において、重症な被ばく者がでた場合の訓練を検討する必要がある。被ばく度合いが高い患者は北海道では対応できない為、弘前大学へ搬送する必要があるが、その搬送訓練を検討してはどうか。	<p>より実効的な訓練となるよう、引き続き、関係機関と協議し、訓練内容を検討していく。</p>
●原子力災害医療活動訓練において、複数名の被ばく者が発生したシナリオを検討する必要がある。今回は1名の被ばく者がでた想定で訓練を実施したが、複数名の被ばく者が発生した場合の訓練は実施した事がないので検討してはどうか。	

(8) 物資緊急輸送訓練に関すること

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○船舶からの荷下ろし、トラックへの積込、一時集合場所でのトラックからの荷下ろし、施設への物資搬入は円滑に行われ、一連の手順を確認することができた。	<p>今後は、防護服の着用や汚染確認など原子力災害特有の対策等について理解が得られるよう訓練内容を検討していく。</p>
●実災害時には、物資の量により車両の停止位置や積込み方法等の調整をしたうえで、船舶からの荷下ろし、車両への積込みが行われると想定される。今回の訓練では、物資の量も少なく、各種調整が省略されていることから、調整部分を含めた実践的な訓練を行うことを提案する。	
○燃料補給車と施設燃料タンクへの接続、燃料補給作業は円滑に行われ、一連の手順を確認することができた。	引き続き、関係機関と協議し、より実効的な訓練となるよう努める。

<北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員による評価結果>

(1) 住民避難訓練に関すること

課題・指摘 (●)・良好事項 (○)	対応 (方向性)・助長策
○外国語対応については、大画面で行っており、複数名に同時に対応できるため有効だと思われる。	より実効的な訓練となるよう、引き続き、関係機関と協議し、訓練内容を検討していく。
○外国人向けの情報提供のための外国語による掲示がなされていた。	
●Zoom による相談会が少人数にしか対応できず、緊急避難時の有効性が不明である。	
●実災害が起きた場合には、多数の住民が来られると思うので、説明場所とバスの待機場所(バスが来るまで待つ場所)を分けて準備した方がよい。	
●訓練シナリオは、すなわち事故の状況であると思われるので、これらの共有・把握を徹底し、訓練を実施することが望まれる。	

(2) 原子力災害医療活動訓練に関すること

課題・指摘 (●)・良好事項 (○)	対応 (方向性)・助長策
○検査会場の動線は整っていた。	住民の汚染検査がより適切に実施できるよう引き続き、関係機関と協議し、訓練内容を検討していく。
●バスの検査場から住民への検査場までの距離が遠いため、動線の工夫ができないか。	
●手の汚染があった際に、ガーゼを近位から遠位に向けて拭くなどは、普段の生活で行わない動きなので、伝えるための工夫が必要ではないか。 (ポスターを貼る、動画を流す。など)	
●汚染が認められた外国人に対する英語等での説明をどのように実施するのかを明確にした訓練も必要と感じた。	

2 外国人観光客等避難誘導訓練（要素訓練）

<関係機関等事後調査結果>

(1) 蘭越町と宿泊施設の通信連絡

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○円滑に実施することができた。	引き続き関係機関と協議し、より実効的な訓練となるよう努める。

(2) 宿泊施設における多言語による観光客への情報伝達及び避難誘導

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○円滑かつ安全に避難所へ誘導できたが、避難誘導人員が多い場合は、宿泊施設から誘導員について支援を受ける。	より実効的な訓練となるよう、引き続き、関係機関と協議し、訓練内容を検討していく。
●館内放送時に入浴している方、寝ている方等も想定されるので、繰り返し放送する、放送の初めにアラームを鳴らす等すれば宿泊客が気づきやすいと感じた。避難までに、宿泊客が着替えたり、荷物をまとめる時間は与えられるのか気になった。	
●避難所まで距離があったため、足の不自由な方がいる場合、吹雪いている場合等は車で送る必要があると感じた。	
●生活弱者（高齢者、妊婦等）を先頭にした誘導や列後方に職員を配置の上、全体の歩行スピードを調整する等、安全性への配慮を要する。	

(3) 避難所開設及び多言語による情報伝達

課題・指摘（●）・良好事項（○）	対応（方向性）・助長策
○職員による英語対応、HIECCと連携した中国語対応、翻訳アプリを使用したミャンマー語対応等それぞれ円滑に質問対応することができた。	より実効的な訓練となるよう、引き続き、関係機関と協議し、訓練内容を検討していく。
○外国人の対応がメインの訓練であるが、特に地域住民の原子力災害の対応要領等を理解していただく良い機会であるので、今回のような訓練を実施する際は、実施項目として盛り込んだ方がよいと思われる。	
●安定ヨウ素剤の緊急配布要領については、「記載された問診表のチェック」と併せて「ヨウ素アレルギー等の問診の実施」による確認及び「年齢にあった錠剤（数）又はゼリー状の安定ヨウ素剤」の配布が必要となるため2重チェックが必要。	

◆令和6年度（2024年度）訓練に向けた検討項目◆

- **意思決定訓練（OFC、災害対策本部など）の充実**
 - ・ OFC等の意思決定と住民避難等の実動の連動を通じた総合的な対応能力の向上
 - ・ 事態の推移に応じた円滑な配備体制の構築と防護措置の検討・実施
 - ・ 防災業務関係者の様々な事象に対する即応力の向上
 - ・ 関係機関との調整などブラインド要素を盛り込んだ状況付与による訓練内容の一層の充実

- **EAL、OILに基づく防護措置に係る訓練の充実**
 - ・ 能登半島地震の発生を踏まえ、様々な自然災害との複合災害など厳しい状況下を想定した訓練の充実
 - ・ 地域の特性等を踏まえた孤立地域の想定と実動機関との連携による対応力の強化
 - ・ 幅広い住民の訓練参加に向けた普及啓発
 - ・ 住民・要配慮者の円滑な避難に向けた関係機関・民間事業者の連携強化
 - ・ 防災活動に従事する民間事業者等の安全確保対策の充実と連携強化
 - ・ 外国人観光客等の円滑な避難誘導に向けた観光事業者の理解促進

- **原子力災害医療活動訓練の充実**
 - ・ 避難退域時検査（住民検査）における実施体制の強化
 - ・ 安定ヨウ素剤の円滑な配布
 - ・ 傷病者搬送における関係機関の連携強化

- **緊急時環境放射線モニタリング訓練の充実**
 - ・ EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携

- **要素訓練の実施**
 - ・ 通信連絡訓練や個別課題に特化した訓練等の充実